

30



軍事極秘

● 一月南西諸島對空戰鬥詳報

24216

第三十三軍電波警戒隊

三月一日敵機空襲戦闘詳報

目次

一 敵來襲前、状況ト之ニ基テ事前準備

二 敵來襲前、状況ト我ガ戦闘状況

一 沖繩本島地區

二 各離島地區

三 南大東島

軍事情報

高宮古島 奄美

三 敵機ノ機種及攻撃法中特異事項

四 戦闘及特異事項

五 戦果並ニ被害状況

一 敵來襲前ノ状況ト之ニ基テ事前準備

比島ヲノバンレヲ基地トスルBニ四ノ哨戒ハ毎日一〇〇〇ヨリ

一三〇〇頃ノ間ニ南西諸島全域ニ對シ實施シアリシ處ニE

ニ十七日Bニ九一機マリヤナ方面ヨリ飛來小數ノ爆彈ヲ投

下シ次イデ二十八日〇九一〇一〇一三〇ノ間敵機ヲ以テ高々

度ヨリ沖繩本島ニ對シ綿密ナル偵察ヲ實施ス

敵機動部隊ノ動向ニ關シテハ十九日短時間ノ電波ヲ輻射

セルモ爾後不明ニシテ二十六日頃本土近海ヲ脱去シ次期作

戦ヲ準備シアルモノノ如シ

右ノ如キ状況ニ基キ部隊ハ各陣地ヲシテ嚴ニ警戒ヲ實施セ

シムト共ニ敵機ノ必捉ヲ期シアリ

二 敵來襲前ノ状況ト我ガ戦闘状況

天候氣象ノ概要

南西諸島全地區トモ概テ中層雲(二〇〇米)及下層雲(七〇〇米)アリテ雲量八内外ナルモ午後ニ至リ下層雲増加シ  
沖繩本島ニ於テ八四〇〇米内外、層積雲全天ヲ覆ヒ風  
速三、五米、東風アリ

1. 沖繩本島地區

○六五六首里辨岳警戒機ハ首里基点一二六度七〇分ニ  
近接中、敵編隊ヲ捕捉ス  
讀谷警戒機又同方向ニ近接中、編隊ヲ捕捉追尾ス  
○七〇〇南西諸島全地區ニ對シ空襲警戒報發令ナル  
○七〇四ヨリ第一波延一五〇機本島各地ニ侵入主トシテ  
飛行場船舶高射砲陣地ニ對シ執拗ト急降下銃  
爆撃ヲ實施ス

部隊ハ〇七二〇軍情報室、移轉ニ伴ヒ移轉ヲ完了  
各陣地ト有線連絡ハ良好ニシテ時々刻々敵機ノ行  
報告ス、離島ト無線連絡ハ移轉直後稍々連絡  
ヲモ暫時、後全ノ回復シ離島ニ對スル敵機ノ來襲狀  
ヲ刻々報告ス

沖繩本島ニ對スル敵ノ來襲ハ八次ニ亘リ延六七五機ヲ以  
來襲ス、其ノ航跡別紙ノ如シ  
一六三〇 空襲警戒報ヲ解除ス  
二〇一〇 一目標首里基点一五〇度一二〇分方向ヨリ  
入スルヨリ空襲警戒報發令スルモ侵入スルニ至ラス  
二〇五〇 警戒報解除

2. 各離島地區

1. 南大東島

南大東警戒機ハ〇七二三南大東基点二六〇度六〇料  
ニ侵入中、敵機ヲ捕捉爾後侵入中敵ヲ追尾ス  
〇七三〇敵機南大東ニ侵入、一三二〇迄延九ニ機  
來襲飛行場陣地ヲ攻撃ス

四 宮古島

宮古島警戒機ハ〇七〇三宮古島基点ニ二三度五〇  
料ニ侵入中、敵ヲ捕捉爾後逐次侵入中、敵ヲ捕捉ス  
〇七三〇、一六〇七迄延六〇機來襲ス

心 奄美

〇七二三龍郷基点一八〇度七〇料ニ於テ敵機ヲ捕捉爾  
後逐次侵入、敵ヲ捕捉ス  
〇七五九、一五三〇ノ間敵艦載機延二三九機主トシテ

三 敵機ノ機種及攻撃法中特異事項

グラマンF6F「カイラス」SB2C「グラマン」TBFBヲ主体  
トシ「ゲオ」トF4U「若干ヲ含ミ」三機編隊ノ四群（一二  
機）ヲ以テ一梯團トス、

絶エズ雲上ヲ飛行シ目標物ニ對シテハロケット砲及五〇駐  
ト五〇〇駐彈ニヨル急降下攻撃ヲ實施ス、  
又海上ニ擊墜サレタル搭乗員救助、爲ニ水上機ヲ帶同シ  
テリテ救助ニ任ジアリ、此際戦闘機ニリ三機後護ス、  
電波妨害用金屬導ヲ使用シタル形跡ヲモテ警戒ノ障害ト  
ナラス

四 戦訓及特異事項

警戒機ヨル敵ノ來襲航跡圖ヨリ判断スルニ〇九〇〇前後首

里基点一一〇度一〇〇分附近一三〇〇頃首里基点一八〇〇  
一〇〇分附近ニ數々編隊ノ敵機返回後消滅スルノ現象アリ  
右ヨリ判断スルニ概地点附近ニ敵艦載機アルヤモ知ラズ  
五 戦果被害状況

兵一名通信保線中腹部ニ爆彈破片創ノ輕傷ヲ負ヘル外人  
負器材共異狀ナシ  
六 其他参考トナルベキ事項  
ナシ

二一 南西空襲及戦闘詳報

一 戦闘前ニ於ケル彼我態勢ノ概要

我が硫黄島及本土ヲ空襲セシ敵機動部隊ハ爾後南西諸島ヲ  
窺ヒテアリ、アモイ情報モ之ヲ八日以後在支及太平洋方面米空軍  
來襲企圖ヲ傳ヘ、即チ綿密偵察(塔)等アリテ敵機動部隊ノ  
來襲公算大ナルヲアリ、軍ニ於テハ各部隊ニ警戒及戰斗準備ヲ  
嚴ニスル如ク下令セラレタリ  
又敵隊ニ於テハ諸般ノ情報ニ鑑ミ有無線通信網ノ急速整備ニ全力  
ヲ傾注スルト共ニ他方敵ノ空襲ノ對シ通信施設ヲ確保スル為ニ通信  
所防空壕ノ設備保線分隊ノ配置等ヲ準備ヲ進ム、アリタリ  
二月三日自繁迫セル情報方下直ニ無線ニ在リテハ連絡強化準備ヲシ  
有線関係ニ在リテハ器材ノ分散配置補修分隊ヲ準備等即應  
態勢力ヲ完了ス  
二 戦闘ニ影響ヲ及ボシタル氣象地形

一、敵機(数量不明)對空射撃ニ困難ヲ感ジタリ

二、敵來襲狀況ト我々戰術狀況

一、部隊ノ狀況 沖繩本島外駐在部隊ハ如シ

電信第百二十六隊本部、第二中隊、第四中隊 首里、紫日川、阿谷

第一中隊、第六中隊 津嘉山

第三中隊 普天間

第五中隊 固足隊材料廠 真和志村安屋

二、來襲敵兵力

沖繩本島 戰線延 六七五機

三、戰法

(一)編隊ハ二十機内外ノ集團ヲ以テ沖繩本島侵入セルモ那覇

上空ニ於テハ主トシテ北方至東方ヨリ侵入セリ、來襲機ハ、七〇〇

—一六三〇間八波ニ亘リ侵入セルモ、毎波ハ小編隊毎ニ波次攻

撃ヲ實施ス

(二)攻撃法ハ主トシテ雲中ヨリ急降下ニ依リ銃爆撃及ロケット砲撃

ヲ併用ス

(三)攻撃目標

飛行場、港灣施設、船舶、對空火器陣地、軍需品集積

場等ニシテ通信施設ニシテ目標トナリタルモノナシ

四、戰術經過ノ概要

一、〇六五〇、與座岳基英ニ七〇度七十軒不明機近接中ト傳

報ヲ入手スルト共ニ、七〇〇空襲警報發令セラル

二、戰隊各道ニ各隊ノ右情報ヲ傳達スルト共ニ、記命令ヲ

下達防空態勢カシカシルト共ニ、通信連絡ノ確保ヲ期ス

作命第六號 〇七〇五

一、〇七〇〇空襲警報發令セラル

二、各隊各道ニ防空態勢カシキ極力現通信網ヲ確保スベシ

210. 各隊失... 指... 處置彈藥ノ分配等  
非常措置ヲ完了シ待避壕ニ入ル

通信網異状ナシ

3. 0726 那霸上空ニ七〇度ノ方向ヨリ敵機續々侵入中ナリ  
0745 首里軍司令部附近ノ重要無線通信網確保爲  
此記命令ヲ下達ス

作命第七號 0745

一 伴藤隊速カニ建築一分隊(大被覆線二十卷)被覆  
線構成器材ヲ含ムヲ軍司令部ニ送ルニ通信掛指  
揮ヲ受ケシムベシ

4. 九〇。敵機ハ數波ニ分レ北飛行場方面攻撃中ニシテ  
引續キ來襲ノ見ユナリ

〇九〇五 東波(〇七〇〇—〇八〇〇)沖繩本島艦載機五機  
來襲後續編隊アリ

攻撃目標艦船AA陣地井ニシテ少數機編隊ヲ以テ連續攻  
撃ナシアリ

5. 0726. 此記情報ヲ受領ス

空襲警報解除 一六三〇

南白諸島全地區 第二十二軍司令官

南後警戒ヲ嚴ニシ、依然原任務ヲ履行ス

有無線通信網失シ空襲中先全ニ連絡ヲ確保緊急

電報ノ送受ニ遺憾ナキヲ期セリ

五. 被害ノ原因及其ノ行動

1. 第一波ノ攻撃中後藤隊松田榮作軍曹ハ中隊兵

岩掛ナリシ爲最後迄煉リドラム罐ノ整理ヲ實施中他

兵ニ連レ高射機肉砲、破片ヲ右上膊部ニ貫通劍ヲ

受ケ

2. 三浦文男上等兵本部炊事勤務中右足第五趾骨及

第五師團 砲兵 砲兵 砲兵

3. 向中隊並田美津夫一等兵、燃事勤務者多ク大元、後始末ヲ擔任一般兵ニ連行勤シルニ依リ、尤大腿部ニ砲彈破片創ヲ受ク。

六、將來ノ參考トナルベキ事項

1. 空襲時ニ於ケル電報統制ハ更ニ強化シ以テ緊急心放送及電報ノ速達ヲ計ルヲ要ス
2. 有線一々分隊(被覆線ニイ巻携行)ヲ軍司令部ニ免出シ通信掛ノ指揮ヲ受ケシメシムル今後ハ空襲警報報下ノ常中ニ免出シ要兵ニ配置シ置フト緊要ナリ
3. 情報ノ速達並ニ電話ノ使用制限ヲ守具施シ重要通話ノ確保ヲ期スルヲ要ス

以上

別紙 三、一南西空襲被害者及六取隊死傷表

隊	戦		死		傷		總計
	將校	下士官兵	計	將校	下士官兵	計	
本部				1	1		1
第一中隊							
第二中隊							
第三中隊							
第四中隊							
第五中隊							
第六中隊				1			1
園是隊							
材料廠							
合計				1	1		1

兵名、陣果、器材、抽哨、精神、華造、物、報告ナシ